



プロジェクトチーム	活 動 案 など
育てよう。心の芽	<ul style="list-style-type: none"> ・「つながりグループ」は、ＳＣとも連携して実践を継続中。学生ボランティアの活用も検討中だが、活動内容が多岐にわたるため担当人材や予算の確保が課題。 ・道徳授業地区公開講座(令和８年１月１７日(土)開催予定)に行われる『意見交換会』について、多くの方が参加しやすい雰囲気づくりについての工夫を検討する必要がある。３名程度の小グループでの座談形式、意見を言いやすいテーマの設定や事前周知など話しやすい場について検討を重ねる。
広げよう。学びの輪	<ul style="list-style-type: none"> ・「朝学習の支援」は、３・６年の朝学習の補助に地域人材を活用して取り組んでいる。ただ、人手不足は引き続き課題であるが、学生などに声を掛け、高校生や大学生が協力してくれている。去年の実践学年も含め、日頃の学習指導の中で効果が上がってきていることが実感できるので、年度末に最終的な検証を行い来年度以降の活動について検討していく。「朝学習の時間増」「習熟度別指導」などが考えられるが、時程変更などが必要になることもある。また、全校実施は難しいため、実施学年や活動内容などについても児童の実態に合わせて検討していく。 ・紙の辞書が重く、持ち運びが大変なこともあるので、児童用タブレットの活用も検討していく。
みんなで協力。 助け合おう	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポートを利用し、児童一人一人が自分の目標を再設定する機会を設けた。めあてをもって学ぶ児童の育成を目指しながら、月に１回か学期中間などに「振り返り」の機会を全校的に設け、自己評価や目標修正に取り組む。 ・避難訓練をより効果的かつ実際に行うために、休み時間・清掃中の発災等を想定し、「自分にできることは何か？」を児童が主体的に考えられるよう、実施案に明示しておく。そのため、「事前告知無し」や「状況に応じた避難経路選択」などの訓練の実施も検討したい。さらに、４月当初の訓練時に、緊急時の対応について座学で学ぶ機会の確保は継続させるとともに、消防署や消防団と連携し、実際に防火シャッターを下ろしたり避難用扉を用いて避難したりするなどの訓練も検討する